磐田市自治会連合会だより

磐田市の未来のために

回覧 vol.38

会長メッセージ

時代の変化に対応する自治会活動

磐田市自治会連合会長
村上　勇夫
Isao Murakami

コロナ禍において、大変ご苦労されている医療従事者、並びに、ご家族の方々に、一市民として心から感謝と敬意を表します。一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、明るく活気溢れる磐田市になることを願っています。

近年は、社会構造・生活環境が大きく変化したことにより、個人の生活パターンを優先、重視する風潮が強くなり、自治会活動に参加する意識は消極的になっています。一方、心温まる人間関係、支え合う社会環境を求めて、自治会活動の必要性・重要性に期待する声も大きくなっていると感じます。個人生活は、様々な社会環境の中で支え合い、営まれていることを再確認することが必要と考えています。

令和３年度は、次の５点を重点に推進していきます。

❶互いに支え合って安全安心な、住んでいて良かったと思える地域を実現して、次世代に引き継ぐ。

❷向こう三軒両隣が単位自治会の原点であることを思い起こし、現在出来上がっている、確実で迅速な連絡体制を活用して、見守り支え合える自治会活動を強化する。

❸交流センターを中心とした地域づくり協議会の活動を推進して地域住民主体によるまちづくりを実現するため、行政による一律の施策を待つのではなく、地域に適切な施策を組み入れて、良好な生活環境を整える。

❹地域に適合する、防災・防犯・交通安全・福祉・子ども若者健全育成・多文化共生に関わる項目や事業を地域毎に確実に推進して、地域の特性を発揮する。

❺行政・関係機関・団体の連携を図り、地域力の向上を目指す。

行政と協働して市政の状況を市民に周知徹底すると共に、市民の要望・意見を行政に反映出来るのが自治会の存在価値です。良好な地域環境の発展と維持が地域づくり協議会と単位自治会の役目だと考えます。時代変化が著しい時こそ、自分たちの住んでいる地域を誇れるものにすることが、自治会活動の原点です。地域活動へ積極的に関わることを願っています。

防災

コロナ対策を考慮した防災訓練の実施や、減災の備えを充実します。

防犯

個人が犯罪に遭わない注意を高めると共に、地域の中から犯罪者を出さないよう啓発活動を強化することを求めます。特に社会問題になっている特殊詐欺被害は、自治会のきめ細かい連絡網を活かして、被害の手口、騙しの架電状況などを迅速に地域の人々に伝えることが被害発生防止のポイントと考えます。

交通安全

事故原因を一人一人が意識することで、交通事故の減少を図ります。交差点の出会い頭の事故防止には、安全確認の励行、通学路の安全確保、夕暮れ時の自発光式反射材の着用の啓発を今年も継続します。

福祉活動

個々の対応を多く求められる分野です。関わる人数が結果に繋がりますので、多くの人の支えが必要です。地域力の差が結果に出る分野と考え、福祉内容に応じた体制を整えなければなりません。

子育て環境の整備、学校生活・地域行事等

老若男女を問わず地域総ぐるみの取り組みが求められます。子育て環境の整備、学校生活・地域行事等での取り組みが、子ども若者育成の基盤となります。

多文化共生

外国籍の方が磐田市を生活の地として選んでくれたことに報いることが必要です。特に外国籍の人には、日本語の習得が最優先施策と考えております。

各地域の取りまとめ役と支部長メッセージ

磐田支部

　コロナ禍で不自由な生活も２年目。自治会連合会の活動も縮小･中止していますが、こういう時こそ、「心のコミュニケーションは密に」して心を通わせていきましょう。
　自治会は身近なものと感じても、自治会連合会への関心や認識は浸透されてないと思います。合併して 16 年目。文化やボランティア等の活動は既に旧市町村単位から磐田市一体の活動へと進んでいます。これからの自治会連合会も支部を越え、課題を共有して情報や知恵を出し合い、解決に向かっていく時期と考えます。
　自治会連合会への皆さまのご意見をお寄せ下さい。

磐田支部長
玉田　文江

見付地区長
小杉　泰久

中泉地区長
大場　雅行

長野地区長
山内　徹

西貝地区長
磯部　知明

向笠地区長
三浦　靖男

今之浦地区長
寺田　和芳

大藤地区長
安達　憲幸

於保地区長
村上　文夫

天竜地区長
長谷川　幸雄

御厨地区長
金原　一義

南御厨地区長
村松　直司

田原地区長
清水　房雄

岩田地区長
鈴木　隆之

福田支部

　地域には様々な方々が暮らしています。また様々な価値観を持ち、様々な生活スタイルで生活しています。そんな地域で暮らしている私たちは、知らず知らずの内に互いに寄り添い、助け合って暮らしているのではないでしょうか。日常をごく普通に過ごし、何かあれば声を掛け合い、励まし合いながら暮らせていけるところが地域かな、と思います。
　一人ひとりが先生であり生徒であると言います。私たちはそれぞれに個性があり、また特技や得意なものを持っています。住んでいるところで、住んでいる皆さんと共にその力を発揮していただくことが、住み心地の良い地域となるものと思います。ほのぼのとした温かさを感じる地域づくりができれば嬉しいです。

福田支部長
寺田　辰蔵

福田南地区長
星野　秀次郎

福田中地区長
柏木　将生

北部地区長
八木　正弘

西部地区長
大橋　幸生

豊浜地区長
内野　稔

交流センターだより／地域づくり協議会だよりが
市ホームページで見ることが
できるようになりました！

磐田市自治会連合会 facebook
様々な情報をお伝えしてます!
いいね! よろしくお願いします。

竜洋支部

磐田市は合併して16年になりました。しかし、旧5市町村の垣根がまだ残っているように感じます。

大切な伝統ですが、この伝統の考え方を間違えると垣根ができてしまい、オール磐田になりにくくなります。近い将来、日本は多文化共生社会になっていくと思います。磐田市は外国人が増加してきています。中には、住宅を購入して三世代で生活している人たちも珍しくない時代になりました。

オール磐田を目指すためには、自治会連合会、地域づくり協議会の果たす役割は大きいものと思います。今後もオール磐田を目指して活動していきたいと思います。

竜洋支部長
藤田　允

竜洋西地区長
吉野　博行

竜洋東地区長
髙橋　英博

竜洋北地区長
白井　君夫

豊田支部

本年より豊田支部長を拝命しました、大澤と申します。10年前に自治会長の任命を受けた時と同じく重責を感じています。8年前には、地区長を拝命し、地区の青城まちづくり協議会を設立しました。地域の絆は常にコミュニケーションの巣立ちと思っています。地域活動はボランティア組織の活動でもあり、奉仕活動の繋がりが地域の総合力と化し、防災･防犯･福祉文化の活動を支える地域づくりと考えます。

豊田支部は、私を含め殆どが新役員になりました。コロナ禍が続く状況下の折、真新しい知恵を出し合い、絆を絶やすことなく、名案を構築したいと思っています。宜しくお願いします。

豊田支部長
大澤　房男

富岡地区長
山田　正行

井通地区長
山岡　二三男

青城地区長
鈴木　正

豊田東地区長
山﨑　次廣

池田地区長
酒井　友春

豊岡支部

少子高齢化や核家族化、人口減少が急速に進む中で、これからの地域づくりには、益々、住民同士の支え合いや助け合い、人と人との繋がりが大切になって参ります。

その主となる地域組織が地域づくり協議会であり、将来につながる住民主導の組織体制の強化を図ることが急務と考えます。

そのためには、地域づくり協議会を主体として、自治会連合会との「融和」による組織の一本化を図ることが必要であると思います。

住民の皆さん！住民主体の地域活動の実現に向けて、地域ぐるみで知恵を出し合い、共に力を合わせてがんばりましょう。

よろしくお願いいたします。

豊岡支部長
深田　研典

豊岡北地区長
青野　博美

豊岡南地区長
石川　好三

豊岡東地区長
山下　恭史

令和３年度総会報告

令和２年度事業報告

令和２年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、令和３年度の事業計画・会費徴収額予算等は、４月25日（日）に自治会連合会役員にて総会を開催し、すべての議案が承認されました。

令和２年度収支決算

収　入

費　目	決算額（円）
会　費	1,695,000
交付金	7,548,800
負担金	0
前年度繰越金	1,883,510
雑収入	52
合　計	11,127,362

差引残額 4,259,648 円は翌年度に繰り越す。

支　出

費　目	決算額（円）
会議費	488,071
事務費	2,668,429
視察研修費	0
事業活動費	3,515,214
支部研修費	65,000
負担金	131,000
予備費	0
合　計	6,867,714

令和３年度事業計画

次の５つの基本方針に沿って、４つの事業に取り組みます。

❶互いに支えあい、安全安心の住み良いまちづくりの取り組みを推進する
❷次世代に自信をもって引き継げる単位自治会の強化を図る
❸交流センターを核とした地域づくり協議会を推進し、地域住民主体のまちづくりを推進する
❹防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成、多文化共生に関する施策を、地域づくり協議会と連携して展開する
❺行政、関係機関、団体と連携を図り地域力の向上を目指す

令和３年度収支予算

収　入

費　目	予算額（円）
会　費	1,017,000
交付金	5,460,000
負担金	660,000
前年度繰越金	4,259,648
雑収入	0
合　計	11,396,648

支　出

費　目	予算額（円）
会議費	650,000
事務費	3,236,000
視察研修費	1,050,000
事業活動費	5,200,000
支部研修費	250,000
負担金	400,000
予備費	610,648
合　計	11,396,648

地域力向上への取り組み事業
自治会連合会だよりの発行、市長と市政について語る会の開催、女性役員の選出・活躍推進など

防災、減災に向けた取り組み事業
家庭防災の日による自助の推進、新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災対策の推進

防犯への取り組み事業
青色回転灯装備車など防犯パトロールの実施、特殊詐欺被害撲滅に向けた取り組みなど

交通安全への取り組み事業
ピカッと作戦（早めのライト点灯と自発光式反射材の着用）の推進、自転車マナー向上に係る取り組みなど

地域で活躍する女性防災委員の紹介

見付地区地域づくり協議会では、今年度から見付女性防災委員会を発足しました。委員長の夏目裕子さんは、「女性も防災の知識を身につけ、地域の女性防災リーダーとして活躍してもらいたい。避難所の運営は男性だけでなく、女性の視点からも意見を取り入れ、安心・安全な避難所の環境を一緒につくっていく必要がある。」と発足の経緯や想いをお話ししてくださいました。

磐田市自治会連合会では、性別関係なく、男女共同参画の視点を持った地域リーダーが増えること、そして防災分野でも広く活躍していただくことを期待しています。

見付地区女性防災委員長
夏目　裕子

【令和3年7月21日発行】
発行：磐田市自治会連合会　編集：磐田市自治会連合会　総務部会
連絡先
磐田市自治会連合会事務局〈地域づくり応援課〉
TEL（0538）37-4811　http://www.iwatashi-jichikai.jp